

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F135210110061
大学名	下関市立大学	設置区分	公立
学校種	大学	都道府県	山口県
大学全体の総収容定員数	1,840名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	経済学部（経済学科、国際商学科、公共マネジメント学科）		

2. 事業概要

<p>多様なデータを設計・分析・活用するために必要な数理統計・情報学・社会科学に関する理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題の解決や新たな価値の創造に貢献し得る人材を育成するため、入学定員80名、収容定員320名からなるデータサイエンス学部データサイエンス学科（仮称）を令和6年度に開設予定である。</p> <p>専門基礎では人工知能を含むアルゴリズムに関する幅広い知識とデータ分析・活用の技能を身につけ、専門応用ではビジネス分野又はヘルスケア分野のデータの分析を学び、実社会で活躍するための実践的な知識を修得する。</p> <p>専門応用の「ビジネス分野」は60年以上の歴史がある本学経済学部と、「ヘルスケア分野」は現在進行中の下関市スマートシティ推進事業や設置構想中の看護学部との連携を図る。また、地元企業との連携協定に基づき、PBLの実施、データ提供による研究などを推進する。</p>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和6年度				
認可申請・届出予定	令和4年度	※既に申請・届出している場合はその年度を記入			
改組内容	学部の新設				
設置等組織名	データサイエンス学部データサイエンス学科（仮称）				
設置等組織の学位分野	経済学関係	理学関係			
当該学部等の所在地	山口県下関市				
入学定員	80名				
収容定員	320名				
入学定員の増加数	80名				
他学部等の入学定員の減少数	80名				

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



<基本情報>

改組予定年度：令和6年度
 改組内容：学部の新設
 設置等組織名：データサイエンス学部データサイエンス学科（仮称）
 入学定員：【R6新設】80名
 所在地：山口県下関市

【特筆すべき内容と評価された点】

○申請要件③
 社会のニーズを踏まえたカリキュラムを設定し、それに対応できる学生を確保するための入試方法を設定している点

データサイエンス学部データサイエンス学科（仮称）新設

設置構想に関する事前協議

・2020年、下関市が設置した「下関市立大学新学部設置に関する有識者会議」がデータサイエンス学部設置を適当と答申

企業からの高い人材ニーズ

・企業調査を実施（2022.12~2023.1）
 ・237箇所（89.8%）が「本学が養成する人材の社会的ニーズが高い」と回答、うち174箇所（65.9%）が採用意向あり

十分な学生確保の見通し

・高校2年向け調査を実施（2022.11~2023.1）
 ・回答78高校のみで入学定員を上回る入学希望「合格した場合、入学したい」126名>定員80名

養成する人材像<特徴・コンセプト>

多様なデータを設計・分析・活用するために必要な数理統計・情報学・社会科学に関する理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題の解決や新たな価値の創造に貢献する人材を養成



地元企業との連携



- ・実務家による講義
- ・PBLの実施
- ・データ提供による研究推進 など

外部資金の獲得



社会のニーズを踏まえたカリキュラム等

専門基礎

データサイエンスに関する数学や情報、プログラミングに関する基礎知識を修得したうえで、統計的分析手法や人工知能を含むアルゴリズムに関する幅広い知識とデータ分析・活用の技能を身につける。

科目例 線形代数学、解析学、アルゴリズム論、データサイエンス入門・演習、回帰分析、定量的データ解析、人工知能概論、データ分析演習 など

基盤教育・教養教育

- 外国語 ●リベラルアーツ ●下関学 ●キャリア教育 ほか

専門応用

ビジネス又はヘルスケア分野のデータの分析を学び、実社会で活躍するための実践的な知識を修得する。

ビジネスデータサイエンス

科目例 経営情報概論、情報システム論、経営情報システム論、E-コマース論、オペレーションズリサーチ など

ヘルスデータサイエンス

科目例 保健医療学概論、疫学・公衆衛生学概論、遺伝学概論、感性データ処理、薬理学概論、医療健康情報学 など

適切な教育体制・教育研究環境

- ・講義のほか、実習、アクティブ・ラーニング型科目、演習科目やプロジェクト型学習科目を配置
- ・新校舎建設による教室や研究室の確保・充実
- ・高性能パソコン等の配備

多様な入学者の確保

- ・女子学部生が地元高校等を訪問し、理系学部の魅力等を紹介
- ・高校訪問や出張講義の実施

※経営コンサルティング（事業戦略立案・企業変革）やデータサイエンス・DXプロジェクトの経験を有する実務家教員による授業科目を配置
 ※上記に対応できる学生を確保するため、大学入学共通テストで外国語・数学を必須とし、個別学力検査で小論文（前期）、数学（中期）を課す